

## ●盗撮予防Tips

□撮影されてから気づいたら、『私は今の撮影を許可していません。撮った写真を消して下さい』と、毅然とした態度で相手に告げ、実際に消すのを確認するまで、そばを離れない。

連れが居なければ近くの参加者に、『すみません、急いで準備会スタッフを呼んで来て下さい』と遠慮なく頼んでよい。

## ■会場で犯罪行為に遭遇してしまったら■

誰だってそんな事態には陥りたくないが、遭遇したくないといくら強く願ってもそれで可能性自体が少なくなるわけではないので、せめてもしもの時に、少しでも早く事態を収束させられる方法を知っておくのは安心に繋がるだろう。どんな大人でも、自分が犯罪に巻き込まれた、被害を被った、というような場合には、なかなか冷静ではられない。特に個人サークルや、1人で参加している一般参加者なら余計に動転してしまって、何をどうしたら良いか分からなくなってしまふかもしれない。

そういったときは、自分はその場を離れずに、とにかく手近な誰でもいいので、各ホールの本部から準備会スタッフを呼んで来てもらおう。トラブルに際しては、無理に独力で解決をはかる必要はないということはおく覚えておいてほしい。

動転していると色々な記憶が急速に失われてしまいがちなので、準備会スタッフを呼んでもらいながら、今遭遇した事態について、相手の服装、身長、何か特徴的な持物、あるいは発生した事案の経緯や相手側の行為、自分の対応など、なんでも良い。思い出せるだけのことをメモしておこう。書いているうちに落ち着けるという副次効果も期待できる。

事件を目撃したら、まずは通報だ。ただし会場内から110番や119番通報をしてはいけない。あくまで真っ先に準備会スタッフか各ホール内の準備会窓口へ届け出ること。

ものによっては、ビッグサイトのガードマンや会場巡回中の警察官に伝達すべき事もあるかもしれないが、その際にも必ず準備会への通報も同時に行うことを忘れずに（その際も周囲の参加者に通報協力を要請してよい）。

あとはその場に残り、その時の状況の情報提供に協力しよう。



## ●一斉点検放送、活用してますか？

かつては『♪探し物はなんですか?』今は『♪みんなの笑顔みんなを守る』という曲でお馴染み一斉点検放送。しかし多くの（特に一般）参加者は、あれはサークル参加者やスタッフのためのもので、自分たちには関係ない、と思っているのではないだろうか？

だがこれは、本来は全参加者に向けられたものだ。この放送が流される時間帯は、参加者の気持ちが緩みがちになるタイミングである、そこで、この放送が聞こえたら、まずは自分自身を『点検』する習慣をつけよう。

ひどい疲れを感じていないか？ どこか痛めていないか？ 何か失くした物はないか？

財布の残額はいくらか？ 携帯に連絡は入っていないか？ 空腹を感じていないか？

紙袋やカバンや靴は壊れかかっているか？

そういった事を一通りチェックするのだ。

サークル参加者は加えて、一旦自分のスペースを出て、通路側から見てみよう。POPが落ちていたり、テーブルクロスが曲がっているかもしれない。また、サークルスペース内の置き引きも発生しているので、自分の荷物が全て揃っているか、周囲にはみ出していないか、といった事もチェックしよう。一斉点検放送を聞いてスペースを整理したら、思い切ってトイレ休憩や自分の買い物に出るのも手だ。

参加者みんなが笑顔で1日を終われるよう、締めるべき所はきちんと締めよう。